



私達はキリスト教精神に基づき、
世界の困難な状況にある子ども達を

いつも、タイ・カンボジアの子ども達をご支援下さり本当にありがとうございます。今年も8月5日～14日で、9名の参加でタイとカンボジア2か国のハッピーホームを訪れました。前半はタイで、チェンセンとチェンライのホーム。後半はカンボジアで、ホームとスラム街の中の小学校でした。初めて行かれた方々を含めた感想を載せました。

今回の訪問に際し、色々な方々から子供達にビタミン剤を、下着を、文具をと心暖まるお話を頂きました。しかし手荷物や税関の関係上、全てを持って行く事ができません。このような援助の輪が広がっていることを感謝しました。

これからも皆様と共に「コップ一杯の水を」届けたいと願われます。



a cup of water のHP、またはFacebook より、タイ・カンボジアツアーをまとめたビデオを見ることができます。是非ご覧ください!!

〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井4丁目23-24
ニューライフキリスト教会内

TEL&FAX 075-962-4249

E-mail info@acupofwater.jpn.org

facebook

現地から届きたてのニュースや子ども達の写真、動画もUPしています。子ども達を身近に感じていただけるよう工夫していきますので、皆さん、「いいね！」お願いします☆

訪問レポート

福原みどり

<再会> まずタイのチェンセンホームを訪ねました。ここは、10年前NPOを立ち上げる前に訪れた所です。10年前に出会った子達は、皆お兄さんお姉さんになっていてビックリしました。



(ベビーホーム)

<初対面> いつも滞在するチェンライホームには、新しい顔ぶれの子達がいまいた。ここに来る前に、ベビーホームで育った子です。ここまで育ったんだ、と感動しながら皆で小運動会をしたり手巻きずしをしたりで心から笑い楽しみました。

<交流> 今回のメインイベントは、綱引きでした。タイ・カンボジア全てのホーム、小学校で行いました。運動会用の本格的なものを持って行き、チームに分かれて本気で戦いました。大勢の家族だからこそ出来る醍醐味です。

<スラム地域> ホームから車で15分のところにスラム街があり、数年前ローズさんは小学校の働きを始めました。約400人が学んでいます。反面、近代化も進んでいます。スラムの地域から追い出されたらどうなるのだろう？と心配な面も出てきています。

<子ども達の今後> ホームを卒業した子供達は学校の先生、看護師の学校、聖書学校、技術の学校など自分たちの希望に進めている子。全くこの先が分からないという子もいました。だからこそ、今いるホームでの生活がかけがえないものになってほしいと思いました。私自身の初めての体験もありました。

昆虫の素揚げを食したことです！例えようのない味、でも香ばしく美味しかったです。今回の訪問も沢山のの方々に会えたことが感謝でした。

2 谷崎 悟（社会人）

「わたしはあなた方をすてて孤児とはしない。あなた方のところに帰ってくる」礼拝中に隣に座っていたノオイ君に好きな言葉をお話して貰いました。神様の言葉は全世界共通で真理が語られていて、多くの人々の人生の土台となっていることを実感することができました。どのような国でどのような状況に生まれたとしても神様は無条件に私達を愛して下さっていることをノオイ君と共感することが出来て、国が違ってもやっぱり神の家族なんだなあと感動しました。

スラム街での小学校では子供達と元気いっぱい体を動かしました。言葉はほとんど通じていませんでしたが、何とか綱引きとリレーを楽しんで貰うことが出来て嬉しかったです。貧しい生活環境の中でも元気に遊ぶ子供達から神様に希望をもって生きることの大切さを学びました。そして、運動会の後に皆で輪になって祈ったことが忘れられません。子供達の純粋な祈りに感動させられました。スラムの街中を歩いてカルチャーショックを受けましたが、カンボジアの貧困問題の現実を実際に自分の目で見られた事が良い経験になったと思います。この経験を自分の小学校の教師の仕事に生かして日本の小学校に自分が学んだことや感動したことなどを伝えていきたいと思います。神様が僕を通して何をなされようとしているのか御声に聞き従って、自分が出来ることを精一杯捧げていきたいと思います。今回の旅を始めから終わりまで守って下さった神様、また、背後でお祈りして下さった兄弟姉妹に感謝します。



3

レイチェル オリバー (学生)

「いつも喜んでいなさい、いつも祈りなさい、全ての事に感謝をささげなさい。これがキリストイエスにあって神が望まれていることです」テサロニケ第一 5章 16-18節。ハッピーホームの子供達は私に、神様にあって喜ぶとはどんなものかを教えてくれました。彼らは十分なものを持っていません。でも自分にあるものを精一杯使おうとしています。キリストの中に生きることで、本当の十分さを彼らが教えてくれました。イエスキリストとはどんなお方なのかを彼らの明るさを通して目が開かれました。それぞれのホームを離れる時、必ずみんなが私達の側に来て祈ってくれました。私は彼らと同じ神の家族、兄弟姉妹なのだ、そして神様の愛で一つなのだと感じました。皆にさよならを言うのは辛かったです。彼らがイエス様の光で輝いていたからです。またいつか訪れたいです、そして私はこれからも彼らのことを祈り続け、経済的にも支援をしていきたいと思います。

4

吉田 瑠香 (中学生)

今回の参加のきっかけは、毎年私の姉がカップオブウォーターの活動でタイ・カンボジアに行っており、よく現地のお話を聞いていたので、いつか自分も行ってみたくて思っていたからです。そして現地へ行ってみると、日本との沢山のギャップにとっても衝撃を受けました。ですが、そんな中でもホームの子供達は本当に純粋で、神様にまっすぐで笑顔に満ち溢れていました。そんな子供達を見た時本当に感動して満たされて、神様って本当に本当に素晴らしいんだって思いました。たとえどこにいても、話す言葉が違って、私達の信じる神様は同じで、神様で繋がっている家族は最高で最強だということも実感することが出来ました。あっという間でしたが、すごく濃くて言葉に表せないくらい幸せ



な時間でした。

(チームの皆さん)

☆~~今年のクリスマスプレゼントは~~☆

ハッピーホームの子供達にTシャツを送ります！！

6才~18才までのサイズで、着なくなったものを募集いたします。男女どちらでも構いません。

*募集期間は11/1~30迄 a cup of water 事務局まで。

*かなり古いものはお控え下さい。



↑ローズさんと子供達 ↓ランチ 卒業生と ゲーム中！ 友田君と一緒に



カップオブウォーターDAYを開催しました。

6月25日(日)ニューライフキリスト教会にて行われました。2016年度の訪問報告で、子供達の笑顔を見ながら心温まるひと時を過ごしました。

また、卒業後は自分の力で歩いていかなければならない現状に「家族のために何ができるか?」と思いを巡らす機会ともなりました。今回は、山川さん、中島さんが手作りアクセサリー、椎名さんがおしゃれな手作りインテリア雑貨販売で協力下さいました。どれもとても素敵で、参加者の方もとても喜んでいました。またフルーツジュースやエスニックスナックを木下さんがご提供下さり、今年もタイ・カンボジアと日本がつながる有意義なイベントとなりました。皆様本当にありがとうございました。(山本)



～ a cup of water 会員大募集中～

賛助会員：会費 1500円/月 一般会員：会費 5000円/年

月1500円の支援で子ども達の約1カ月分の食事代になります。

その他、子ども達が学校に通う時の制服代などに用いられます。まだまだ大きな必要があります。

お支払方法は、月々の封筒またはゆうちょ自動引落、銀行振込、郵便振替が可能です。支援のお申込み、お問い合わせは事務局までお気軽にご連絡下さい。(担当：福原みどり、山本佐織)